

## 市長就任あいさつ

平成 25 年 4 月 24 日

菊池市長就任に際し、私の所信を申し述べます。

### I. 課題認識

現在の菊池市は多くの問題を抱えています。

大括りに総括すると、次の 3 つに課題を整理できます。

#### 1. 経済の低迷：

シャッター通りが象徴するように、観光業・商業の不振が続き、若者の就職難・人口減少・高齢化など、経済低迷の悪循環が続いています。経済に元気を取り戻すことが、何よりも急務です。

#### 2. 財政基盤の構造変化：

合併後 10 年目から大幅歳入減少が避けられませんが、来るべき大きな変化に対応できていないのが現状です。現状のままでは、市政運営に大きな支障が生じます。一刻も早く合併の本来目的に立ち返り、一層の効率化を実現していく必要に迫られています。

#### 3. 新市の一体感：

庁舎問題を契機に、市民の一部に感情的しこりが生じることとなりました。問題の根底には、旧 4 市町村の間での不公平感も影響していると思われます。残念ながら、4 地域間での相互信頼感がまだ醸成できていません。

### II. 主要施策

課題は明らかです。これらの課題解決のために、具体的に 3 つの仕組みづくりを行っていきます。

1. 経済活性化の仕組みづくり
2. 効率化の仕組みづくり

### 3. 公平公正の仕組みづくり

以下、その骨子を申し述べます。

#### 1. 経済の活性化

世界的な大きなトレンド(潮流)は、「健康志向」「自然回帰」です。こうした中で、菊池市の持つ素晴らしい自然力は手つかずの宝の山と言えます。この特性を活かし、農業と観光を今後の経済活性化の柱と位置付けます。そこに企業的な経営手法や外部とのネットワークなどを活用して、振興を図っていきます。

①**農業**：安心安全の品質イメージと、インターネットによる販売戦略を組み合わせ、高品質・高付加価値化を図っていきます。より「儲かる農業」を目指すのです。

②**観光**：自然や歴史・文化資産などの豊富なコンテンツ(素材)を活用し、心に訴える様々な仕掛け・仕組みを通じて「癒しの里」のイメージを構築していきます。特に、「森の町」・「さくらの里」・「ホテル王国」などを具体的な手掛かりに進めていきます。こうして菊池ファンともいべきリピーター(固定客)を増やし、それがまた農業との相乗効果にも繋がっていくのです。

③こうした自然力を活かした戦略のためには、**環境保全**への取り組みが不可欠です。そのためには、

- ・産廃問題やごみ処理問題にキッチリと決着を図ります。
- ・中期的には、小水力等の自然エネルギーを活用し、自然の恵みを活かした循環型社会のモデル地方都市を目指します。そうした先取りの戦略が、菊池市の新たな発信力になり、好循環につながります。

#### 2. 効率化の仕組み

行政コストを下げるのが、合併の大きな狙いでした。それに立ち返り、効率化を進めます。行政サービスの品質の維持・改善が前提となるのは言うまでもありません。

①**新庁舎**は議会で議決した「本庁+3支所方式」で進めますが、無理無駄が起きないように、市民の意見を聞きながら計画の精査を行います。

②**窓口業務**や公共施設の**資産運営**のあり方などを見直します。

③また、市政への**市民の参加**を促す手法を取入れ、住民が主体となった自立的で効率的な社会を築いていきます。これからの『新しい公共』のあり方です。行政コストが抑えられるだけでなく、市民参加を通じて市民の心に強い郷土愛

と誇りが生まれていきます。

### 3. 公平・公正の仕組み

- ①諸運営ルールの見直しや見える化を進めます。
- ②情報公開を積極的に進めます。
- ③「市長と語る会」や「市民政策会議」など、市民の声を聴く仕組みを具体化します。

### 4. 教育の重要性

上記3つの仕組みづくりを通じて課題の解決に取り組んでいきますが、菊池の価値を永続的に高めていく鍵は人材です。人材育成は、私たちの永遠の最重要課題です。とりわけ、

- ・自分で考え行動する、知恵と気概と郷土愛を持った人材の育成
- ・高校教育の強化

に力を注ぎます。

## III. 行政としての取組課題：

以上の課題を解決していく上で、特に市役所の皆さんにお願いしたい点を申し述べます。

### 1. 市民目線

私たちのお客様は全ての市民です。常に市民目線で考え行動しましょう。特に、スピードと品質の両立に心がけてください。そのためには、効率的・能率的な業務遂行が必要です。

### 2. 連携力

各種経済団体・企業・市民団体・4地域・他市町村・メディアなど、様々な外部との連携・ネットワークが、大きな力を生んでいきます。

### 3. 発信力

菊池の良さ・魅力が、外部に未だアピールできていません。日本一の桜並木や日本一のホテルの里づくり、日本一の安心安全の給食など、発信力につながる企画を立案し、具体化してください。発信力は一般窓口業務であっても発信可能です。(例えば、日本一笑顔のさわやかな窓口の評判など)特に来年はさくらシンポジウム開催を控え、大きなチャンス。様々な企画

を重ね合わせて、全国に発信しましょう。

#### 4. 活力・チャレンジ

新しいことへのチャレンジを大いに推奨します。「いらんこつするな」とか「従来からそうしていました」は今後ご法度です。「なぜそうしているのか?」、「なぜこうしないのか?」を常に疑って、声を上げて下さい。

上下左右に風通しの良い、声の上がる職場を目指します。みんなが生き生きと面白い職場にしていくのが目標です。また、そういう新しい取組やチャレンジを今後は評価していきます。

### IV. 最後に

「菊池の自然の恵みを守り、自然を活かして穏やかな発展を続けていく、安心・安全の癒しの里」。これが菊池市の今後の目標像です。

従来、派閥やしらがらみが強すぎて、折角のエネルギーが内向きに使われてきた点は否めません。その間世の中は先に進み、菊池だけが取り残されてきました。しかし、今の菊池市にはもう浪費すべき猶予はないのです。

菊池市を構成している4地域は、歴史も特性も違います。違うもの同士が集まった良さが菊池の魅力に他なりません。「みんな違って、みんな良い」のです。サッカーの世界カップでは、日本中が愛国心で一致団結しますが、Jリーグだとライバルです。心の置き方次第で友達にも敵にもなるわけです。

菊池市には地域の境界線はどこにもありません。あるのは心の境界線なのです。地域の争いが続くうちに菊池全体が壊れていくのは本末転倒です。我々はいわば同じ船に乗っている同志。漕ぎ手がバラバラでは菊池丸は沈んでいきます。

いまこそ、海図をきちっと描きなおして、新しいゴールに向けて力を合わせて漕ぎ出しましょう。水平線の向こうにはワクワクするような新しい菊池市が見えています。

市役所の皆さんは一人一人が、この船を前に進めていくための重要な役割を担っています。議員の皆様とも十二分な連携を図り、全員一丸となって、私たちのふるさと再生へ向けて、力を結集して行きましょう！

以上、市長就任に際し、私の挨拶とさせていただきます。